

教員（担任／副担任）希望者 Q & A

Q 1 教員免許は持っていますが、教員経験はありません。それでも担任になれますか？

⇒ なれます。本校としての教員研修がありますので、ご安心ください。

Q 2 教員免許は持っていますが、国語ではありません。それでも大丈夫ですか？

⇒ 大丈夫です。本校教員の大半は国語以外の教員免許保持者です。本校としての教員研修がありますので、ご安心ください。

Q 3 教員免許は持っていませんが、塾で講師をしたことがあります。それでも大丈夫ですか？

⇒ 大丈夫です。教員免許はなくても他教育機関での指導経験者であれば教員登録は可能です。また、本校としての教員研修もありますので、ご安心ください。

Q 4 私はシンガポールに在住してまだ日が浅いのですが、教員に応募できますか？

⇒ 当地での滞在許可証（EP/DP/PR等）を取得済みであれば応募は可能です。既に日本から転居後の生活が落ち着かれましたら、ぜひご応募ください。

Q 5 長期的に勤務できることが応募条件となっていますが、最低どの程度の勤務期間を想定していますか？

⇒ 最低1年間は担任又は担任を補助する副担任として勤務できる方を希望しています。

Q 6 土曜日の勤務時間は何時から何時までですか？

⇒ 12時30分から16時30分までです。ただし、年に数回程度、入学試験や行事のお手伝いで午前中からの勤務をお願いする日があります。出勤要請の提案は行事等の3～4週前に職員会議で行いますので、できる限りご都合をつけていただけると助かります。

Q 7 補習校では、どの教科を、何時間くらい教えているのですか？

⇒ 本校の授業は土曜日の3時間のみで、そのほとんどの時間を国語の教科指導にあてています。他には関連教科として社会を教える時間、集会行事をとおして児童生徒を日本文化に触れさせる時間があります。

Q 8 担任の業務としては、授業をする以外にどのような業務がありますか？

⇒ 教科指導に関する業務（教材研究や準備・児童生徒の学習についての評価等）や学級事務（欠席児童生徒への対応等）に加え、職員会議への出席、入学試験や行事運営のお手伝いなどがあります。

Q 9 毎週土曜日が授業日ということですが、お休みできる土曜日はないのでしょうか？

⇒ 本校の長期休業期間やシンガポールの祝祭日と重なった土曜日はお休みとなります。ご旅行や日本に一時帰国される場合には、できるだけ本校の休業期間をご利用ください。

Q 10 担任になってから、やむを得ない事情や突発的な出来事のためにどうしても出勤できない日があった場合、どうしたら良いですか？

⇒ 担任が事情により欠勤する場合は、担任が準備した授業案に従い、副担任又は補助ボランティア教員が代行をします。代行者への依頼は学校が行いますので、出勤できないことがわかりましたらできるだけ早くお知らせください。

Q 11 お給料はどの程度いただけるのでしょうか？

⇒ 報酬は、本校規定にしたがって土曜日の勤務時数に応じてお支払いしています。詳しくは、面接時にお話することができます。

Q12 教員としての採用にあたり、筆記試験はありますか。

⇒ 筆記試験はありません。個別に面接をさせていただき、採用の可否を決定しています。

Q13 採用となった場合、すぐに担任になるのでしょうか。

⇒ 年度途中で担任が退職することがない限り、すぐに担任をお願いすることはありません。まずは補助教員としての経験を積んでいただいた上で、年度途中又は次年度から担任をお願いすることになります。

Q14 1学級あたりの児童生徒数は何人くらいですか。

⇒ 児童生徒数は、現在、ほとんどの学級で20名前後となっています。

Q15 私は英語が得意ではありません。保護者や児童生徒との意思疎通に英語は必要ですか。

⇒ 本校の保護者も児童生徒も日本語で意思疎通が図れるので、英語がしゃべれなくても大丈夫です。また、児童生徒には補習校の中では日本語を使うよう指導していますので、もし英語が得意であったとしても、先生は日本語のみで接してください。

Q16 児童生徒の日本語レベルや学力はどの程度のものなのでしょうか。

⇒ 本校では日本の指導要領に沿って国語の指導をしていますので、国語に関しては日本の公立学校と大差のない学力を持つ児童生徒がほとんどです。

Q17 配偶者が土曜日に出張で家にいないことが多いので、毎週土曜日に子どもを連れて出勤しても良いですか。

⇒ 大変申し訳ないのですが、原則として本校の児童生徒でないお子様同伴での授業日の出勤は認めていません。出勤日におけるお子様のお世話については、ご家族のご理解とご協力が必要となります。

Q18 授業準備や教材研究をするための資料として、補習校にはどんなものがありますか。

⇒ 日本の学習指導要領解説書や音声テープ、教師用指導書、指導技術書等、様々な資料があります。また iPad やノートPC、掲示物等作成に役立つ用紙類や文具もありますので、必要に応じご利用ください。

Q19 授業準備や教材研究のために、平日に学校に行っても大丈夫ですか。

⇒ 大丈夫です。本校職員室は、授業日である土曜日以外の平日（火～金曜日の9時～17時）も開いていますので、お気軽にご来校ください。

Q20 平日に授業準備を補習校で行いたい場合、子どもを連れて行っても良いですか。

⇒ 大丈夫です。ただし職員室には裁断機など子どもには危険なものもありますので、お子様の安全管理に十分に気をつけて作業をしてください。

Q21 平日は別の職場で仕事をしているので、土曜日しか出勤できません。授業準備や教材研究は自宅でやっても良いですか。

⇒ はい。ご自宅で授業準備や教材研究をしていただくことに問題ははありません。

Q22 補習校独自の研修があるということですが、どのような研修ですか？

⇒ 当初は色々な学級で補助教員として勤務しながら、担任の授業を見て学んでください。担任になりましたら、適宜、校長や指導主事が授業参観をした上で指導を行います。また、日本人学校の先生方の授業を参観させていただいたりする機会もありますし、その他にも先生方の指導力向上のための教員研修を充実させていく予定です。